

## ネットいじめ等への対応

～民間業者委託による学校非公式サイト等の監視結果報告～

平成29年度の監視結果を報告します。本業務については平成30年度も継続実施します。

### 1 結果概要（別紙参考資料参照）

#### 【校種別検出割合】

高等学校 約59.4% 中学校 約40.3% 小学校 約0.2% 特別支援学校 0%

#### 【リスクレベル別検出件数】

- リスク高（生命に関わるような緊急性の高いもの） 2件
- リスク中（緊急性はないが、早期対応が望ましいもの） 691件
- リスク低（緊急性はないが、必要に応じ適切な対応が望ましいもの） 5489件

#### 【男女比】

女子児童生徒 約57.0% 男子児童生徒 約40.3% 不明 約2.7%

#### 【検出内容種別・割合】

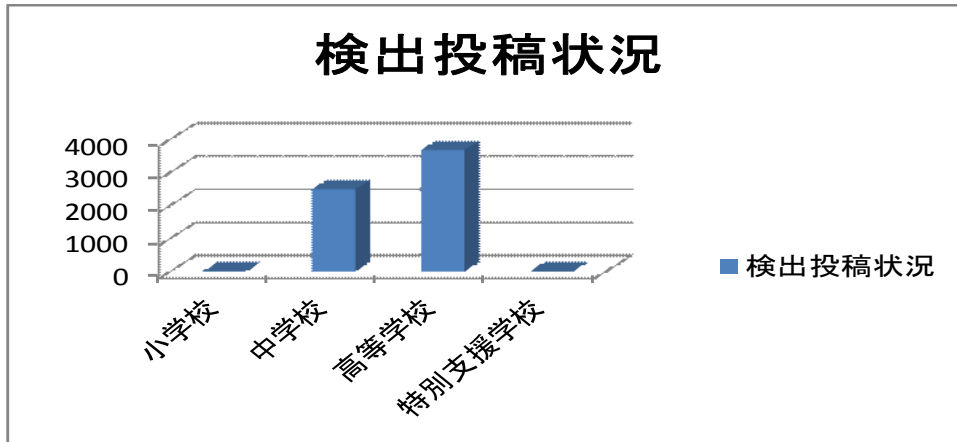
個人情報の流布 約81.3% 飲酒・喫煙等の不法行為 約8.7% いじめ・誹謗中傷 約7.2%  
トラブル 約0.2% その他 約2.6%

### 2 対応等

- 当該教育委員会及び当該校に情報提供、削除要請等の対応を行った。
- 当該校においては、状況に応じた個別指導により行為の重大性を理解させる指導や全体指導による情報モラルの啓発指導を行った。
- 今後も監視業務を継続、早期発見・早期対応につとめる。
- 広く府民から情報提供を受け、学校での指導や削除要請につなげるため「ネットいじめ通報サイト」を運用

☆ 平成29年度の主な特徴は、平成28年度と比較して「個人情報の流布等不適切な書き込み」が202件減少しましたが、「いじめ・誹謗中傷等」については257件増加し、「不法行為」についても247件増加した状況から、今後も不適切な書き込み等監視業務の継続と適切な指導等により、インターネットを通じて行われるいじめを未然に防止するとともに、ネットトラブルの危険から児童生徒を守っていきます。

単位 件数



単位 件数

